

# 森林整備事業による土砂災害等の防止

5か年加速化対策

国土強靱化

災害時に効果が見込まれる事例

NATIONAL RESILIENCE

概要: 1級河川の上流域において間伐を実施したことで、森林の有する土砂災害防止等の機能が維持向上され、大規模地震等の災害発生時にも、県道への土砂流出防止効果が発揮できる見込み。

対策名: 4 森林整備による防災・減災対策<5か年加速化対策>【農林水産省】

■ 実施主体: 林野庁九州森林管理局

こゆぐん きじょうちよう

■ 実施場所: 宮崎県児湯郡木城町

■ 事業概要: 小丸川流域の森林における間伐

1級河川である小丸川上流域において、森林の有する土砂災害防止機能等の維持向上を図るため、5か年加速化対策期間に重点的な間伐(104ha)を実施。

■ 事業費: 約1億円(令和4年度)

(うち5か年加速化対策 約1億円)

■ 事業の効果

木城町では南海トラフ地震により最大震度7の地震が想定されているが、河川上流域の森林が適切に整備され、土砂災害防止機能及び土壌保全機能等が維持向上されることで、地震発生時に想定される山地災害リスクを軽減し、下流域やインフラ施設等への影響を未然に防止する。

当該事業箇所の斜面下方には県道が通っていることから、地震発生時の道路の寸断による集落孤立の防止等に寄与することが期待される。



間伐実施前



間伐実施後

